

## 10月定例会

◆日時：10月14日（水）15：00－17：00

◆場所：大日本印刷株式会社 五反田ビル（会議室およびラボ）

[https://www.dnp.co.jp/corporate/information/location/map/1188980\\_1561.html](https://www.dnp.co.jp/corporate/information/location/map/1188980_1561.html)

<https://www.dnp.co.jp/>

（東京都品川区西五反田 3-5-20）

◆開催方法：リアル／オンライン（Teams 配信）開催（リアル参加者は8名まで可能）

◆内容：大日本印刷株式会社様のファインオプトロニクス事業部の先進技術に関する話と、オフィスの環境改善にも役立つ特殊なフィルムの話などをいただきます。また、会社の見学などもさせていただき予定です。他に、三木からオフィスや働き方の新たな潮流などについても話題提供させていただきます。

大日本印刷からの講演内容

- ・DNPのコア技術にはどのようなものがあり、それをどのような製品に展開してきたのか
- ・透明スクリーンの製品概要
- ・弊社の考える透明スクリーンの市場について
- ・透明スクリーンの利用シーンについて
- ・その他の開発品について

講演者：大日本印刷(株)ファインオプトロニクス事業部

グローバルマーケティング本部第2部 部長 石川桂三

大日本印刷株式会社の光を制御するフィルムについては次のサイトをご覧ください。

[https://www.dnp.co.jp/biz/theme/functional\\_film/01/1193048\\_2632.html](https://www.dnp.co.jp/biz/theme/functional_film/01/1193048_2632.html)

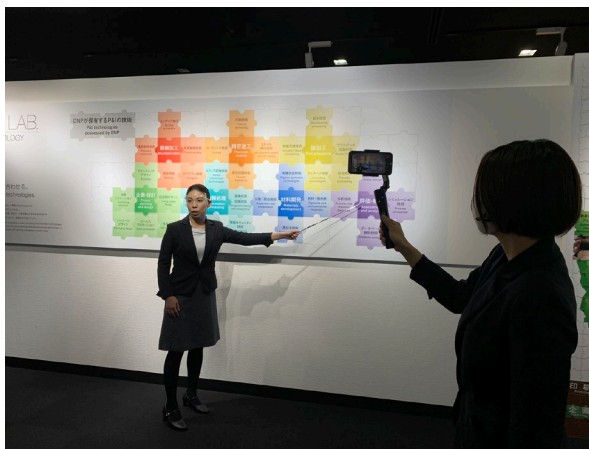
### ◆プログラム

15:00-16:00 五反田ビル P&I ラボご見学(TEAMS による配信)

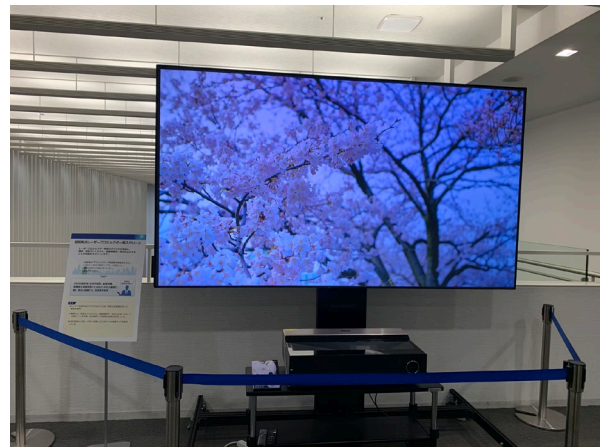
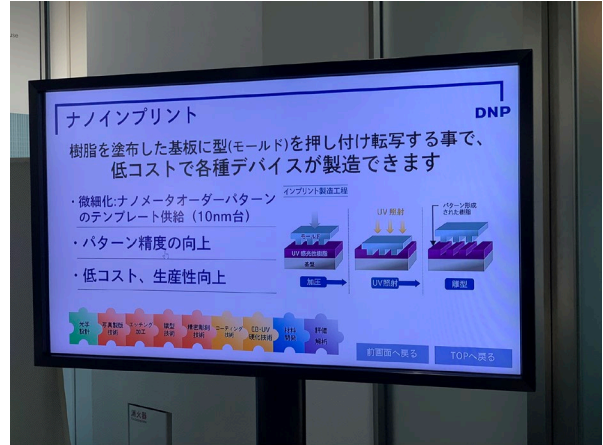
16:00-17:00 講演及び討論(TEAMS による配信)

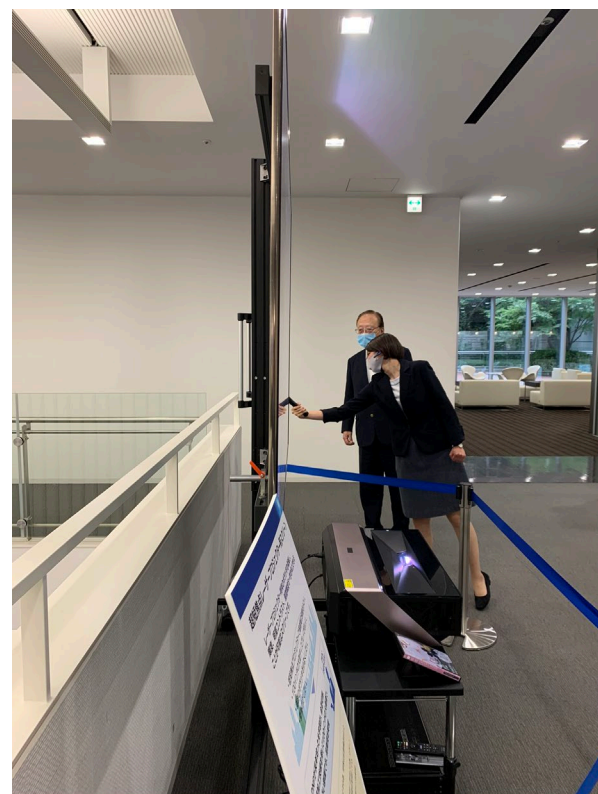
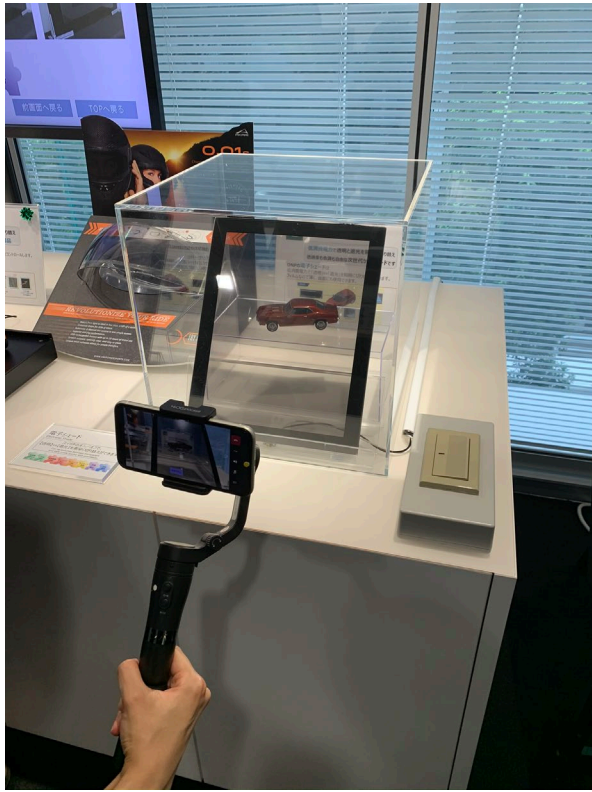
### ◆当日の写真



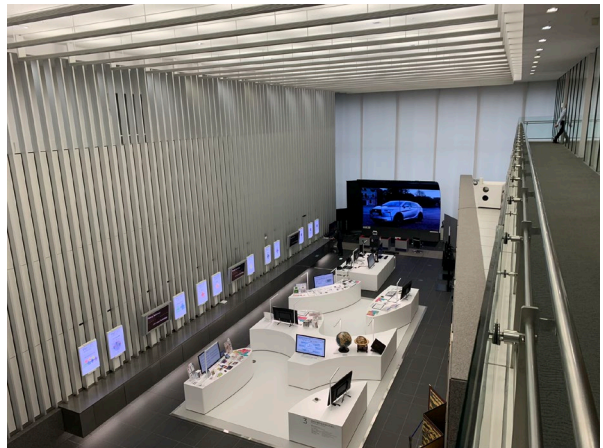
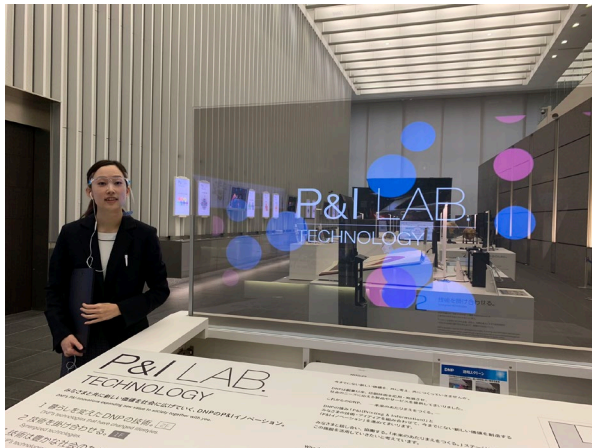












◆開催関係者への礼状

大日本印刷株式会社

中村卓哉様

石川桂三様

本城健範様

九鬼大輔様

(順不同)

DNP P&I ラボテクノロジースタッフ 今村様

写：運営委員各位

知的オフィス環境推進協議会の三木です。

昨日は、大変お忙しい中、知的オフィス環境推進協議会の10月定例研究会の開催に全面的にご協力いただき、誠に有り難うございました。

五反田駅から徒歩数分で見えてくる貴社の五反田ビルの壮観に圧倒されました。外観も素晴らしいビルですが、中に入ると大空間が広がり、そこに貴社の魅力的な展示があり、とても印象的でした。

今回の研究会はリアル参加者4名で、オンライン参加者多数という形式で実施させていただき、貴社の格別のご配慮に深く各感謝を申し上げます。前半のDNP P&I ラボの見学では、今村様始め大勢のスタッフの皆様がオンライン見学会のご支援をしていただき、感動いたしました。9月の定例研究会ではPhoneAppli様と三菱電機システムサービス株式会社様のご協力を得て、オンラインでの見学を知的オフィス環境推進協議会の研究会としては始めて実施し、その時は小型の三脚に取りつけたムービーカメラの動画をHDMIから取り出し、WiFi変換器で社内ネットワークに流し、ミニスタジオの映像切り替えスイッチで講演から画面を切り替えて行っていただきましたが、今回の研究会では女性スタッフの方が3軸手持ちジンバル装置とスマートフォンで見学者の目線でご撮影をいただき、Teamsのリンクを別にする事で映像切り替えスイッチ無しで見学と講演会を連続開催していただくという方法に驚きました。貴社がこのようなオンライン見学会のシステムとチームを新型コロナに合わせて作られていることに驚きましたが、実は今回の研究会がオンライン見学会として初めてであり、私どものために特別のご準備いただき、周到なりハーサルを行っていただいて実現したことに対してさらに驚き、また感謝に堪えません。見学の説明をされる方も、撮影をされる方も、またオンラインで視聴されている方の画面と音声をチェックされている方など、10名近くの方が我々のオンライン見学会のためにご準備を頂きましたこと、本当に有り難いと思っております。今村様、ご関係のスタッフの皆様にも是非、宜しくお伝え下さい。完璧なリアル・オンライン見学会が実施できたこと、素晴らしいことと敬服しました。ここまでやっていただける会社は本当に少ないと思っております。

さて、見学の内容ですが、貴社の特殊フィルムなどに関する先端技術には驚きました。貴社が持つ材料開発、微細加工、精密塗工、情報処理、企画設計などの幅広い技術がまさに数多くの製品を生み出していること、拝見するものすべてが革新的で感動しました。特に、瞬時に黒化、透明化する電子シェードフィルム、窓の採光を天井に向けて部屋を明るくする採光フィルム、短焦点液晶プロジェクター専用の超大画面高反射率スクリーン、空間の視野を邪魔することがなく短焦点液晶プロジェクターで高輝度で情報提供できる透明スクリーン、実物大の自動車が目の前に出現する200インチを超える有機ELディスプレイ、まさにウッドやコンクリートなど、見た目には本物に見えるアルミ板塗装技術、さらには24時間の保

冷性能を持つ低温物流用の超断熱ボックスなど、見学させていただくすべてのフィルムなどが新鮮で、かつ、高い技術力で始めて実現できるものばかりでとても有意義でした。リアル見学された私以外の3名の方も実物を目の前にして、いろいろな質問が飛びだし、興味津々という感じでした。オンライン参加の方にはなかなかうまく伝わらなかったかも知れませんが、見学に立ち会った気分は十分に味わっていただけたかと思います。

後半の講演会では透明スクリーンに関する詳細なご説明をいただき、有り難うございました。貴社の透明スクリーンは、従来の透明スクリーンとは格段に性能が異なり、透明度が高く、それにも拘わらず短焦点液晶プロジェクターの光を正面だけに反射させる特殊な機能を備えたもので、その微細加工が同心円状になっていることに驚きました。説明を聞くと、確かにプロジェクターの光は1点から出た光なので、それをすべてスクリーン平面に垂直な方向に反射させるためには同心円状のマイクロな反射角度を持つスクリーンが必要と分かりました。

今回の研究会で得た情報は非常に貴重でした。特に、高級な自動車は将来的にはすべての窓が透明なディスプレイパネルとなり、サンルーフや後部座席の窓は電子シェードになると思います。最新の航空機ではフォトクロミック材料を用いた電子シェードがすでに用いられていますが、フォトクロミックでは反応に時間がかかること、光の透過率が低くなったときに青くなるなどの課題がありますが、貴社の電子シェードは反応時間が瞬時であり、かつ、完全に黒くなるため、自動車など瞬時の応答が必要な場面での用途が可能になります。透明スクリーンはオフィスや自宅でも、空間の開放感と短焦点液晶プロジェクターによる情報提供や映像視聴が可能であり、近未来的な空間に変身させる可能性を秘めています。また、超大画面、超高輝度反射となる短焦点液晶プロジェクター専用のスクリーンは、超大画面が欲しいけれど使用しない時に黒いのはデザイン性が悪くなるため白くしたいという超高級な個人宅での壁面に使うには最適と分かりました。

今回の見学や講演で知った貴社の機能性フィルムの技術は貴社の全体の中でもごく一部であり、貴社はエレクトロニクス部門だけでも機能性フィルム、産業部材・資材、ディスプレイ部品・部材、精密機器部品・部材などがあり、そのほかの情報コミュニケーション部門や生活・産業部門、清涼飲料部門など、多くの広がりを持つ巨大な企業であり、自社内外でのコラボレーションによって未来を作り出せる企業であることが分かりました。

今回の研究会で頂きました格別のご高配に感謝を申し上げますと共に、知的オフィス環境推進協議会としてもオフィスやワークプレイスの環境に貴社の機能性フィルムの活用シーンを考えるなど、今後も情報交換をさせていただければと思っております。有り難うございました。